

【サークル】

今学期は、KCAFE という韓国人とお話しする活動に参加することにしました。今年に入ってようやく韓国語の勉強を始めたため、勉強歴が浅いことが心配だったのですが、担当の先生もサークルのメンバーも歓迎してくれました。活動はほぼ毎週一回二時間です。初回は二時間ずっとおはなしするものでした。二回目以降は四月に韓国語の検定があるため、それに向けての練習もします。参加して思ったことは、とにかく台湾人の語学力が高いということです。話せる言語を紹介する時、英語と韓国語が入っているのは基本で、また日本語を勉強している人も多かったです。とにかく大半の人が問題なく普通に会話できていてとてもレベルが高いです。私以外は台湾人と韓国人なため、伝わらないときは中国語で説明してくれます。韓国語の難しさで窮地に立たされているからなのか、中国語での説明がとても理解でき、中国語が気楽に感じます(もちろん分かりやすい中国語でゆっくり説明してくれるからですが)。台湾人と韓国人の友達がたくさんでき、中国語の勉強もしながら韓国語も学べる点がこの活動の良い点だと感じます。

【漢字】

今学期授業を受けていてよく先生から言われることがあります。それは、「日本の子どもたち、この漢字気を付けて」です。前学期はほとんど言われませんでした。しかし、今学期は一週間に一度程度の頻度で言われます。先生曰く、日本人は漢字を書くことに慣れているからこそ、間違い也多めだそうです。台湾と日本の漢字は同じものもあれば、全く違うものもあり、ほんのちょっとの違いしかないものもあります。そのため、漢字の知識が多少ある状態では覚えやすい点もありますが、間違えやすさもあるということです。また、初めは簡体字で勉強している人が多いため、繁体字と簡体字のミスもあります。繁体字は綺麗でしょ、面白いでしょと先生たちはよく言っています。私もはじめは簡体字で中国語を勉強していたので、繁体字の複雑さに面倒だと感じることもありました。ですが、いまでは繁体字は字のバランスが整っていたり、意味も含まれていたり、とても興味深く感じるようになりました。

授業では外国人が間違えやすい漢字を成り立ちから丁寧に説明してくれます。そのため記憶に残りやすいです。日本で小学校や中学校で漢字を習う時はひたすら漢字を書いていただけなので意味ではなく形で覚えてしまっていました。だから、忘れやすいのかもしれませんが。また、中国語を勉強する学科だからかもしれませんが、先生た

ちは漢字にとっても注意を払っています。台湾人は繁体字という漢字に誇りを持っているように感じました。

下に例を挙げます。これは細かい違いですが、もちろん授業ではしっかりチェックされます。左が日本の「後」で、右が台湾の「後」です。青い○の部分がとても重要です。漢字を書くことに慣れてしまっているので、中国語を書くときはより意識する必要があります。



【企業イベント】

三月の下旬に大学に企業が来て展示ブースを開設し、企業と学生が交流するようなイベントがありました。それとは、別に一つひとつの企業が説明会を開くイベントも三月中に開催されていました。私も聞いたことのある有名企業が来ていました。有名大学には、やはりトップ企業が来るのだと、当たり前ながら感心と羨ましい気持ちで見えていました。



↑ 企業の展示ブース



←これは、企業の話と関係ありません。ただ単に、もうアジサイが咲いていて、かつもう枯れる時期にまで入っているのだとびっくりして撮った写真です。